

関 係 各 位

公益財団法人鳥取県建設技術センター代表理事
(公 印 省 略)

「人権に関する講習会」等建設技術研修の受講申込について (通知)

当建設技術センターの研修業務につきましては、日頃から格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このことについて、下記1のとおり「人権に関する講習会」研修等12研修の受講申込受付を開始しますので、受講を希望される方は、当センターのホームページからお申込みください。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を講じながら、Webセミナー方式で開催したいと思います。インターネット通信料など、御社にご負担・ご迷惑をおかけしますが、ご協力をいただきますようお願いいたします。

このほかの研修については開催準備が整い次第、順次受講申込を開始することとしており、当センターのホームページに掲載するとともにメールでお知らせします。

なお、本県への「緊急事態宣言」は解除され、県境を越える移動が全国で可能になりましたが、引き続き感染防止にご協力いただきますよう重ねてお願いいたします。

記

1 受講申込受付を開始する研修

| 研修名 | 開催日 | 時 間 | 受講料 | 定員 |
|---------------|----------------------|-------------|--------|--|
| 人権に関する講習会 | 8月4日(火) 8月5日(水) | 13:00~16:00 | 3,300円 | 各研修 センターで受講:40人 会 社 で 受 講 : 40 人 合 計 80 人 |
| 激甚化する豪雨災害への対応 | 8月19日(水) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 建築工事の安全管理 | 8月21日(金) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 斜面防災の基礎 | 8月25日(火) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 事例から学ぶ現場の安全管理 | 8月27日(木) 8月28日(金) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 施工計画 | 9月1日(火) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| やさしい構造力学 | 9月4日(金) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 建設現場の生産性向上 | 9月8日(火) | 13:00~16:00 | 3,300円 | |
| 橋梁点検と補修計画 | 9月10日(木) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 基礎から学ぶ土木工事積算 | 9月11日(金) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| やさしい土質力学 | 9月15日(火) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |
| 仮設工 | 9月18日(金) | 10:00~16:00 | 5,000円 | |

※研修の詳細は別紙1「受講申込受付を開始する研修一覧表」をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症予防のため、センターでの受講者を40人までに制限させていただきます。

※受講料は、新型コロナウイルス感染症対策に係る費用を加味したものであり、令和2年度限りの単価とさせていただきます。

2 受講申込について

- (1) ホームページの「研修受講申込エントリー」ページに、研修毎に「センターで受講」及び「会社で受講」の申込口を設けていますので、いずれかを選択して申込手続きを進めてください。
- (2) 受付完了後、当センターから「受付確認メール」を送信します。
- (3) ホームページからの申し込みには「ログインID」及び「パスワード」が必要です。
分からない場合は総務研修課までお問い合わせください。
- (4) 受講申込は、研修開催の7営業日前までホームページで受付けします。
- (5) 「研修受講申込エントリー」URL <https://www.tctcplaza.or.jp/front/seminars/index>

3 受付開始日時 令和2年7月9日（木） 10時～

4 Webセミナー方式について

研修はWebセミナー方式とし、会社又は当センターの大研修室で受講していただきます。
詳細は別紙2「Webセミナー方式の研修について」をご覧ください。

5 受講料の引落について

- (1) 建設業、コンサルタントの職員の場合
研修開催日の3営業日前に事前に登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。
- (2) 県、市町村、公社・事業団等の職員の場合
研修終了後、請求書を送付しますので振込みをお願いします。
- (3) キャンセル期限を研修開催日の7営業日前までとし、それまでにキャンセル手続きが行われていない場合、登録いただいた口座から受講料を引落しさせていただきます。

6 新型コロナウイルス感染症対策について

研修開催にあたり、別紙3のとおり新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。
研修当日、発熱症状・咳など体調に不安がある方は、受講をお控えください。
なお、改正健康増進法（令和元年法律第二十六号）の施行に伴い、当センター敷地内は禁煙です。

7 その他

県内感染拡大等の情勢変化に対応して、急遽研修の延期や中止を決定する場合があります。
その場合は、ホームページに掲載するとともに、申込者へはメールでお知らせします。

担当者

総務研修課 前田、藤井

電話：0858-26-6065

ファクシミリ：0858-26-6052

Eメール：fujii-n@tctcplaza.or.jp

令和2年度研修計画一覧表(8~9月開催・Web研修)

別紙1

| 研修名 | 開催日 | 時間 | 加 点 研 修 | CPDS 研 修 | 建設コン サルCPD | 建築士会 CPD | レ ベ ル | 目的 | 研修科目及び主な内容 | 受講料 (円) | 講師 |
|---|----------------|---------------------------|------------------|----------------|---------------|-------------|-------------|---|---|------------|---|
| 人権に関する講習会 | 8月4日 8月5日 | 13:00 ~16:00 (3時間) | 人権・ 同和 | ○ | ○ | | 全員 | 人権尊重のための知識を学び、差別がなく、働きやすい職場づくりにつなげる。 | ・外国人雇用の法令、外国人雇用の好事例・ ・外国人雇用の現状と多文化共生 | 3,300 | (一財)ダイバーシティ研究所 代表取締役 田村 太郎 鳥取労働基準監督署 中小企業診断士 |
| 激甚化する豪雨災害への 対応 | 8月19日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 豪雨災害の特徴や、平成30年7月豪雨等の事例を紹介し、近年激甚化している豪雨災害に対応できる技術者の育成を目指す。 | ・日本の国土の特色と近年の土砂災害の状況 ・降雨のメカニズム、近年の豪雨災害の特徴 ・事例:2011年紀伊半島水害、平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月西日本豪雨 ・鳥取県における豪雨災害 ・豪雨災害に対する近年の取り組み | 5,000 | 日本工営(株)広島支店 技術部 児玉 浩 |
| 【新規】建築工事の安全管理 | 8月21日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 建築工事における安全対策に関する基本的な知識を修得し、建築現場での労働災害の減少につなげる。 | ・建設業における労働災害発生状況(災害事例の紹介) ・建設業における労働災害防止上の課題 ・労働災害発生のしくみと発生時の対応 ・労働災害と企業の責任・職長・安全衛生責任者の役割 ・建設業における統括管理・建設業のリスクアセスメント ・ヒューマンエラーのはなし・労働安全衛生関係法令 ・労災かくしの排除・建設業の働き方改革 | 5,000 | 戸田建設株式会社 管理本部 安全管理統轄部副統括部長 小澤 重雄 |
| 斜面防災の基礎 -斜面崩壊を防ぐための 基礎講座- | 8月25日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | | 中級 上級 | 豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、斜面崩壊を防ぐための基本的知識を学び、技術者としての資質の向上を図る。 | ・地質と地形及び土の基本的性質 ・斜面の不安定モデルとのり面設計の概念 ・土質調査と土質試験の概論 ・維持管理と災害対応 | 5,000 | 西日本高速道路エンジニアリング中国 |
| 【新規】事例から学ぶ現場の 安全管理 | 8月27日 8月28日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 建設工事における事故事例や、企業や現場での効果的な取り組みから安全管理に関する理解を深め、建設現場での労働災害の減少につなげる。 | ・労働災害の現状 ・事故事例から学ぶ安全管理 ・効果的な取り組み事例から学ぶ安全管理 | 5,000 | トマル経営技術コンサルタント 代表 外丸敏明 |
| 施工計画 | 9月1日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | | 初級 中級 | 施工計画に関する基礎知識を学び、現場に応じた施工計画の立案や適切な施工管理を行うための技術を身につける。 | ・施工計画書と工程管理 ・施工計画の基本と事例 ・施工計画の作成・運用・管理 | 5,000 | ワイズ公共データシステム(株) 取締役 荻原隆仁 |
| 【新規】やさしい構造力学 | 9月4日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 擁壁等の構造物の設計の考え方や施工上必要となる基礎的な構造計算の方法など、新人技術者に必要となる構造力学の基礎を学ぶ。 | ・基礎理論の概説(用語の習得) ・土木設計実務と構造力学との関係 ・断面計算、応力計算 | 5,000 | (株)インフラ・ラボ 代表取締役 松永省吾 |
| 【新規】建設現場の生産性 向上 ~中小企業がICTを使う 理由~ | 9月8日 | 13:00 ~16:00 (3時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | ICT活用推進のトップランナーによる事例紹介を通じ、ICT活用についての理解を深め、建設現場や会社における生産性向上につなげる。 | ・ICTに取り組んだ理由と経緯 ・土木工事の2次元図面の弊害 ・YDN(やんちゃな土木ネットワーク)の取り組みについて ・建設業の未来について | 3,300 | (株)正治組 土木部 部長 大矢洋平 |
| 橋梁点検と補修計画 | 9月10日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | | ○ | ○ | | 中級 上級 | 行政職員及び建設コンサルタント職員を対象に、橋梁点検及び補修計画の策定を行う際の留意点等を解説し、点検・診断に関する技術力向上を図る。 | 【行政・建設コンサルタント職員向けの内容です。】 ・鳥取県橋りょう定期点検マニュアルについて ・劣化・損傷原因究明のための詳細調査 ・点検時の留意点 ・工法選定の考え方と設計事例 | 5,000 | (株)片平新日本技研 中国支店 支店長代理 高 龍 |
| 基礎から学ぶ土木工事積算 | 9月11日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | | ○ | ○ | | 初級 | 土木工事積算の最近の動向や積算に関する基礎的な内容を学び、工事積算実務について理解を深める | ・土木工事積算とは ・積算基準、歩掛の構成、機械損料等、積算に関する基礎的な内容について解説する。 | 5,000 | 鳥取県県土整備部技術企画課 |
| 【新規】やさしい土質力学 | 9月15日 | 10:00 ~16:00 (10時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 新人 | 土の基本的な性質、調査・試験方法、土の圧密・強さなど、新人技術者に必要となる土質力学の基礎を学ぶ。 | ・土の分類と性質・地盤の強度 ・軟弱地盤の挙動(液状化・圧密・支持力) ・法面の力学(切土、盛土)、土留(土圧) | 5,000 | (公社)大阪技術振興協会 山口技術士事務所 代表 山口博久 |
| 仮設工 | 9月18日 | 10:00 ~16:00 (5時間) | 技術 | ○ | ○ | ○ | 初級 中級 | 工事の施工に必要な土留、型枠、支保工、仮締切等の設計・施工について事例を基に学び、仮設構造物の重要性を理解し、工事の安全かつ円滑な施工につなげる。 | ・仮設構造物の概要 ・土留・仮締切の設計・施工・失敗事例紹介 ・簡単な型枠の計算(演習) ・土留め支保工の計算(演習) ・単管ステージの計算(演習) | 5,000 | (株)DOSUCO技術士事務所 代表取締役 松谷 孝広 |

Web セミナー方式の研修について

1 受講方法等

(1) 会社で受講する場合

- Web セミナーは、「Zoom アプリ」を使用して行います。
- Web セミナー方式では、インターネット環境が必要です。インターネット通信料は御社でご負担ください。受講中は双方向で映像・音声データのやり取りを行い、インターネットを通じて大容量の packet 通信を繰り返すため、packet 定額サービス等の利用をお勧めします。
- カメラ及びマイクが付いたパソコン又はタブレット端末等(10 インチ以上)を一人一台ずつ用意してください。
- Web セミナー受講に必要なアクセス用 URL、ログイン ID、パスワード、Zoom へのアクセスやシステムの使用方法については、研修開催日の 6 営業日前にメールでお知らせします。
- 研修テキストは上記のメールにリンクを貼り付けますので、ダウンロードして必要な方は印刷してください。
- Web セミナー方式では、Zoom の音声又はチャット機能により、講師と直接質疑等のやり取りが可能です。

(2) 当センターで受講する場合

- Web セミナーに対応可能なインターネット環境を用意できない場合は、当センター大研修室で受講することができます。希望される方は各研修の「センターで受講」を選択して申込してください。
- 新型コロナウイルス感染症予防のため、当センターでの受講人数を 40 人までに制限するとともに、受付での問診、検温等を行います。
- 問診票を事前にご記入いただき、受付時に提出をお願いします。
(問診票はメールで送付するほか、当センターのホームページ「研修/様式ダウンロード」に掲載します。)
- 研修中は Zoom の画面を映した大型スクリーンを見て受講していただくため、パソコン及びタブレット端末は不要です。
- 研修テキストは、当日受付で配布します。
- 運転免許証等の写真付きの身分証明書をご持参ください。
- 当センター敷地内は禁煙です。
- Web セミナー方式では、Zoom の音声又はチャット機能により、講師と直接質疑等のやり取りが可能です。

2 受講確認の方法について

(1) 会社で受講する場合

- 本人確認のため、顔写真付きの証明書(CPDS 技術者証、免許証等)のコピーを事前にセンターにメールで送ってください。
(CPDS の学習履歴の登録を希望される方は、CPDS 技術者証の写しを送付してください。)
- Zoom の画面上で本人確認を行いますので、カメラ機能は常時 ON にしてください。故意にカメラを OFF にした場合は、研修の修了を認めないこととします。
- 加点研修及び CPDS の申請に必要なため、参加者全員分のスクリーンショットを撮影します。
(開始直後、昼前、昼後、終了前付近のスクリーンショットを撮影します。)
- 加点研修の確認テストは、講義終了後にメールで問題及び解答用紙を送信しますので、研修終了後 30 分以内にセンターに解答用紙(PDF)をメールまたはファックスで送ってください。期限までに解答用紙が届かない場合は修了証書を発行しません。

メールアドレス:kensyu@tctcplaza.or.jp

ファックス番号:0858-26-6052

(2)当センターで受講する場合

- ・受付で本人確認をするため、顔写真付きの証明書をご持参ください。
- ・加点研修の申請に必要となるため、受講中の写真を撮影させていただきます。

3 CPD(継続学習)の取扱いについて

(1)CPDS(全国土木施工管理技士会連合会)

①会社で受講する場合

- ・学習履歴は、当センターが代行申請します。(1時間当たり1ユニット)
- ・個人 ID からの学習履歴の申請はできません。
- ・受講確認のため、事前に CPDS 技術者証のコピーをメールでセンターに送ってください。
- ・プログラム名に「オンラインセミナー」と記載されているプログラムに履歴を登録します。

②当センターで受講する場合

- ・学習履歴は、受講者各自が個人 ID から申請を行ってください。(1時間当たり1ユニット)
- ・プログラム名に「センターで受講」と記載されているプログラムに履歴を登録してください。

(2)建設コンサルタンツ協会 CPD

①会社で受講する場合

- ・単位等の取扱いについては、建設コンサルタンツ協会CPD事務局へ直接問い合わせしてください。

②当センターで受講する場合

- ・通常の研修と同様、1時間あたり1単位が認められます。
- ・受講証明書を配布しますので、CPD システムから「CPD 記録登録申請」を行ってください。

(3)建築士会 CPD

①会社で受講する場合

- ・学習履歴は当センターが代行申請します。(1時間あたり1単位)
- ・受講確認のため、顔写真付の証明書とともに建築士会CPDカードを事前にセンターにメールで送ってください。

②当センターで受講する場合

- ・学習履歴は当センターが代行申請します。(1時間あたり1単位)
- ・会場の後方に「出席者名簿」を置いておきますので、学習履歴の登録を希望される方は、CPD番号とカナ氏名をご記入ください。

4 トラブル発生時の対応について

(1)会社で受講する場合

- ・Web セミナー中、何らかのトラブルにより講義が受信できない場合は、建設技術センターへ電話連絡してください。(電話番号 0858-26-6065 担当:総務研修課 藤井、前田)

(2)センターで受講する場合

- ・Web セミナー中、何らかのトラブルにより講義が受信できない場合は、大研修室内にいるセンター職員が対応します。

新型コロナウイルス感染症対策について ～研修を受講される皆様へ～

受講される皆様には、新型コロナウイルスへの感染予防のため、以下の点にご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

○当日、出発前にご自宅で検温を行い、発熱症状・咳など体調に不安のある方は、受講をお控えいただくようお願いいたします。また、当日受付及び実習現場で検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は受講をお断りさせていただきます。

○受講される方は、感染症予防対策として会場内でのマスクの着用、咳エチケット、手洗い・アルコール消毒にご協力ください。

○休憩時間中、受講生同士の歓談を控えるなど、感染防止対策の実施をお願いします。

○トイレの利用は「密」になるのを防ぐため、各階のトイレもご利用ください。

○会場では、感染予防対策のため休憩時間中に窓等を開放し自然換気を行います。そのため、空調効果が損なわれることがありますので各自でのご調整をお願いします。

○感染拡大を予防するため、講師及び事務局職員がマスクを着用して対応する場合がございます。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

○感染拡大の情勢の変化に対応して、急遽研修の延期や中止を決定する場合がありますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

皆様の健康と安全を考慮し、感染予防対策にあたりますので、ご協力のほどよろしくをお願いいたします。